

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年進補版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCB_2010bpi&bei(v.2.11)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)伊勢原成瀬複合店舗新築工事	階数	地上2階
建設地	伊勢原市下糟屋3022番1外	構造	S造
用途地域	第2種住居地域・準防火地域	平均居住人員	1,200 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年6月 0.0	評価の実施日	2016年11月14日
敷地面積	6,846 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社厚木支社
建築面積	4,039 m ²	確認日	2016年11月14日
延床面積	5,826 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社厚木支社

外観/バース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
30% 60% 80% 100% 100%超

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能
Q1 室内環境
Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー
LR2 資源・マテリアル
LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.2

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.2

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.7

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	必要部位に断熱材を設け、外皮の熱負荷軽減に配慮した。 効率の良い設備機器の採用により、建物の設備システムにおける高効率化に配慮した。 LED照明の採用	その他 0
Q1 室内環境	必要部位に断熱材を設け、外皮の熱負荷軽減に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 接道部分に緑地を配し、周辺のまちなみや風景に配慮した。
LR1 エネルギー	効率の良い設備機器の採用により、建物の設備システムにおける高効率化に配慮した。	LR3 敷地外環境 敷地内に緑地を設け、敷地外への熱的な影響の低減を図った。
Q2 サービス性能	階高、天井高にゆとりを設け、空間の快適性及びゆとりに配慮した。	
LR2 資源・マテリアル	リサイクル資材の採用、及び解体時に分別が容易な工法を採用することによる、建物のLCCに配慮した。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される